

社 会 福 祉 法 人 聖 マ リ ア 会

令和6年度事業報告

事業の実施状況

令和6年度、介護報酬のプラス改定があり国が今後3年間の方針を示しました。しかし、今年度も物価高、光熱水費の高騰が続くとともに、高齢者施設の新型コロナ等の感染症対策を緩めるわけにはいかない現状もあり、経営に影響して厳しい状況となりました。そのような中でも利用者サービスの一層の向上と、今後を見据えた安定運営を行っていくために各事業に取り組んでまいりましたのでその概要を報告いたします。

(1) 理念の実現

職員が、関わる全ての人に思いやりの心を持ち、利用者個々の立場に立ったノーリフティングケアの取り組みを強化することで、安心して施設で生活していくための自立支援を行うことができました。

また法人全体のICT化を定着させ、介護ロボット（見守り機器）や介護記録ソフトを使った現場の業務改善を行うことで、多くの利用者に質の高いケアを提供する生産性の向上に繋げることができました。

(2) 働きやすい職場環境の実現

多様な働き方に対応する制度を整え「ひめボス宣言事業所」の認定を受けました。

また、感染症特別休暇を継続することで職員の離職を防ぐとともに、成長が実感できるキャリアパス制度と人事考課制度の仕組みを整え、良質な福祉人材の育成、定着を促進することができました。

なお衛生委員会、高齢者虐待防止委員会等各種委員会活動を通じて職員の心身の健康保持促進を図り、高齢者虐待防止に向けた施策やハラスメント対策を強化することで働きやすい職場環境づくりを行いました。

(3) 健全で安定的な財務基盤の確立と地域における公益的な取り組みの推進

物価高騰に対応するため食材料費、利用者負担、保守点検料などについての見直しや、補助金を活用したLED工事を行うことでコスト削減について計画的に進めました。

さらに、介護報酬改定で新設された重度化した利用者に対応するために協力医療機関との連携を強化するための加算や生産性向上推進体制加算の取得など、利用者及び職員に有益な加算を積極的に算定するとともに、補助金を活用した特殊浴槽の入替工事や利用者のプライバシー確保のための個室化改修工事を行いました。また福祉車両の贈呈も受けました。

また地域に根差した福祉の拠点となるために今治の高齢者施設では初となる富田総ぐるみ子どもまもり隊今治警察署「立寄所」に指定されました。今後も地域の多様な援助ニーズを把握し、つながりの構築にむけての活動を行います。

(4) 感染症や自然災害に備えた事業継続計画（BCP）の運用

各事業所において感染症や自然災害に備えた事業継続計画（BCP）を策定して、自然災害や感染症の流行といった不測の事態が発生した場合であっても、利用者に対して安定的・継続的にサービスを提供できるよう研修や訓練を行いました。

また、オンラインによる全職員への教育や地域の防災訓練に参加することにより災害時における地域の中での法人の役割についての理解を深めました。

1. 法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人 聖マリア会
2. 所在地 愛媛県今治市上徳甲 1 1 0 番地 1
3. 法人の事業
 - (1) 第一種社会福祉事業
 - (イ) 特別養護老人ホームの経営
 - (ロ) 軽費老人ホームの経営
 - (2) 第二種社会福祉事業
 - (イ) 老人デイサービス事業の経営
 - (ロ) 老人短期入所事業の経営

2. 役員等の状況

構成（令和 7 年 3 月 31 日現在）

理 事	定数	6 名以上 1 1 名以内（現員 8 名）
監 事	定数	2 名以内（現員 2 名）
評議員	定数	7 名以上 1 2 名以内（現員 9 名）

3. 令和 6 年度理事会開催状況

開催年月日 出席人数	議案
令和 6 年 6 月 5 日 理事 8 名 監事 2 名	第 1 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 5 年度事業報告について 第 2 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 5 年度決算について 第 3 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 6 年度第 1 次補正予算について 第 4 号議案 社会福祉法人聖マリア会職員就業規則の一部改正について 第 5 号議案 医療法人聖ルカ会との協力医療機関としての契約締結について 第 6 号議案 社会福祉法人聖マリア会定時評議員会の開催について 第 7 号議案 社会福祉法人聖マリア会評議委員会選任・解任委員の選任について 報告事項 1 専決事項報告
令和 6 年度第 2 回理事会 （理事会決議の省略） 決議事項の提案をした理事 理事長 木原 晃 理事会の決議があったものと みなされた日 令和 7 年 1 月 11 日（金） 議決に加わることのできる 理事総数 理事 8 名	第 1 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 6 年度第 2 次補正予算について
令和 7 年 3 月 27 日 理事 8 名 監事 2 名	第 1 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 6 年度補正予算について 第 2 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 7 年度事業計画について 第 3 号議案 社会福祉法人聖マリア会令和 7 年度予算について 第 4 号議案 社会福祉法人聖マリア会職員就業規則の一部改正について 第 5 号議案 社会福祉法人聖マリア会嘱託職員就業規則の一部改正について 第 6 号議案 社会福祉法人聖マリア会職員給与規程の一部改正について 第 7 号議案 社会福祉法人聖マリア会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部 改正について 報告事項 1 専決事項報告

4. 令和6年度評議員会開催状況

開催年月日 出席人数	議案
令和6年6月20日 評議員 8名 出席理事 2名	報告第1号 社会福祉法人聖マリア会令和5年度事業報告について 第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和5年度決算について

5. 特別養護老人ホームみどりの郷

特別養護老人ホームみどりの郷の令和6年度の実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和6年度稼働目標 稼働率95%に対して93.9%であった。

【原因】

現場のノーリフティングケアにおける実践力が向上し自立支援につながるケアを提供することができた。しかし3度の施設内への新型コロナの持ち込みや、終末期に該当する入所者の入退院による空床期間の増加、また特養以外の生活施設の充実や高齢者住宅の増加により入所待機者の減少が顕著であった為、次期入所者の入所決定が遅れてしまうことがあった。

【対策】

生活相談員が現場主任や協力病院との連携を強化して、入所検討業務及び入退院による空床管理を遅延なく行う。現場では介護の生産性向上につながる業務改善を行い働く環境を整えるとともに、職員のノーリフティングケアにおける習熟度を高めることによって職員のやりがいにつなげる。そうすることで離職率の低い状態を維持し、土台を固め部署が一丸となって稼働率を達成する。

2. 【実績】

利用者の安心・安全、職員の腰痛予防のためにノーリフティングケアに取り組むことができた。前年度は職員が個々で利用者のことを考えることで、一人ひとりのレベルアップにつながったが、今年度はユニットで意見を出し合い実行・周知徹底を行うことで、職員の更なるレベルアップにつなげることができた。職員がレベルアップすることで、利用者のADL・QOLの向上にもつなげることができた。

記録を紙媒体から電子媒体にすることにより、多職種との連携が強化されるとともに経費削減につながった。介護ロボットを使用することで負担が軽減し職員の腰痛が少なくなることで腰痛を退職理由とする職員がいなくなった。

(1) 定員 58名 令和7年3月31日現在
 個室 14、4人部屋 11

(2) 入所者 58名 男性 14名
 女性 44名

(3) 入所者年齢

	69 歳以下	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100 歳以上	計
男 性	1	3	4	6	0	14
女 性	3	1	17	21	2	44
計	4	4	21	27	2	58

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男 性	59 歳	93 歳	84.1 歳
女 性	68 歳	101 歳	89.0 歳
計	59 歳	101 歳	87.8 歳

(4) 年度別利用状況

年 度	日 数	延利用日数	1 日当人員	利用率	備 考
6 年	365	19,880	54.47	93.9	
5 年	366	20,118	54.97	94.8	
4 年	365	20,068	54.98	94.8	

(5) 入退所状況（ 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 ）

- 入所者 13 名 入所前居所 （ 自宅 8 名、グループホーム 1 名、サ高住 1 名、病院 2 名、療護園 1 名 ）
- 退所者 13 名 退 所 理 由 （ 長期入院 10 名、死亡 3 名 ）

(6) 現入所者の入所年度

26～27 年度	28～30 年度	31～元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	計
2 名	9 名	4 名	2 名	13 名	6 名	10 名	12 名	58 名

(7) 現入所者の平均在所日数

- 6 年度 1,256 日（ 3 年 05 月 ）
- 5 年度 1,232 日（ 3 年 04 月 ）
- 4 年度 1,081 日（ 2 年 11 月 ）

(8) 入所者の年間平均介護度

- 6 年度 4.08
- 5 年度 4.08
- 4 年度 4.02

(9) 特例措置による入所状況 0 日

(10) 入所待機者 157 名（ 他施設との重複含む ）

(11) 入所検討委員会開催

年 5 回（ 4 月、7 月、10 月、1 月、3 月 ）

6. 短期入所（ショートステイ）事業

ショートステイみどりの郷の令和6年度の実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和6年度稼働目標 稼働目標 40%に対して 33.6%であった。

【原因】

特養と合わせ、全体で月平均 60 名の利用を目標としており、特養 58 床の入院や退所での欠員を補うことも含め、1 日当利用人数を 3 名から 5 名に調整する必要がある。

6 月の特養 2 階でのコロナ感染発生における受け入れの制限と 2 月の多床室改修での受け入れ中断が影響した。

また、新規利用者の受け入れを多く調整するも、以前からの利用者の施設入所や入院等があり、全体の 1 日当利用人数は 3.03 人に止まった。

【対策】

特養入所者感染発生時の受け入れ中断は避けることはできないため、中断や受け入れ制限を見越したショート利用人数を調整していく。また、新規利用者受け入れと突発的な希望者の受け入れも柔軟に対応できる体制にする。急なキャンセル時の待機者の獲得にも努める。

2. 【実績】

① 利用者及び家族の意向に沿えるよう柔軟な対応と個別ケアの提供をスタッフ間で情報共有し、協力し合いながら質の向上に努めた。また、ノーリフティングケアの知識と技術を家族へ情報提供することができた。

② 利用者の安全と過ごしやすい環境に配慮しつつ、予測される事故に関して、利用者毎にスタッフ間で申し送りを行い予防に努めた。また、家族と密に情報共有し、信頼関係を築く努力をしてきた。起きてしまった事故に関しては原因を確認し、再発防止に努めた。

今後もリピートに繋がる安全と快適な利用になるよう、個別ケアと事故防止ケアを提供する。

(1) 定 員 9 名 (予防型含む)

(2) 年度別利用状況

年度	日数	実利用人員	延利用日数	1 日当人員	利用率	備 考
6 年度	365	182 (0)	1, 105 (0)	3. 03	33. 6	1 人当平均利用日数 6. 07 日
5 年度	366	192 (3)	1, 241 (14)	3. 39	37. 7	6. 46 日
4 年度	365	163 (1)	949 (5)	2. 60	28. 9	5. 82 日

() 内は介護予防分を再掲

(3) 利用者の年間平均介護度

6 年度	3.41
5 年度	2.80
4 年度	2.64

7. 地域密着型通所介護（デイサービス）事業

デイサービスセンターみどりの郷（地域密着型）の令和6年度の実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和6年度稼働目標 稼働目標 85%に対して 73.5%であった。

【原因】

昨年の反省もあり、新規利用者を多く獲得して延べ利用回数の多いご利用者を減らすことができるよう努めたが、結果的には昨年と同様に施設入所などの利用中止者に対して、新規利用者の獲得が追い付かず、達成率も遠く及ばなかった。

【対策】

「利用者一人ひとりにより深く関わるができるデイサービス」・「断らないデイサービス」をみどりの郷デイサービスの特徴として掲げ、居宅介護支援事業所にアピールし、新規利用者を多く獲得できるよう努める。

また、職員全員で利用者増に向けた取り組みを行うことで、職員の達成感、やりがいにつながるようにしていきたいと考えている。具体的には体験利用者や利用者へまた来たいと思っていただけるような細かな配慮や企画をチーム一丸となって取り組んでいく。

2. 【実績】

担当職員が半年ごとにアセスメントを行い、通所介護計画書のサービス内容を一人ひとり細かく書き込むことで、担当職員以外もそこに目を通すと理解できるようになってきている。今までのあいまいな表現を止め、症状や支援内容を理解しやすいような書き方に改めたことで、個別ケアの充実が図れるようになってきた。

施設外活動は、コロナ禍以降中断していた買い物レクを再開した。今までと違い1日2～3人の少人数で行くこと、買い物レクの期間を延長することで、安全かつ欲しい物を手にとりやすい状態にできた。また、買いたいものが多い人は車椅子での移動を希望する方が多く、少人数だからできる支援ができた。

また季節の外出も例年より回数を増やして、気分転換や季節感を味わってもらえるよう努めた。

職員については、それぞれに担当を持ってもらうことで責任感ができ、やりがいにも繋がっている。

感染対策については、デイで感染予防対策を徹底し、常にご利用者やご家族に呼び掛け・お願いをすることで、施設に持ち込むことを防ぐことができている。

本年度は他事業所にアピールする資料も作成し営業にも取り組んだ。結果としてはまだ結びついていないところもあるが、徐々に新規、体験利用者のお話をいただくことも増えてきた。

- (1) 定員 ア. 地域密着型 18名
 イ. 通所型サービス 地域密着型の定員内
 ウ. 認知症対応型 (休止)

(2) 営業日・サービス提供時間

- 1週間の営業日数 6日 (月～土曜日)
 ○ 1日のサービス提供時間 ア. 地域密着型 6～7時間
 イ. 通所型サービス 6～7時間
 ウ. 認知症対応型 (休止)

(3) 年度別利用状況

区分 年度	(日) 開所日数	地域密着型		通所型サービス		認知症型		計		(人) 1 日平均	(%) 利用率
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員		
6 年度	307	366	3, 215	108	846	－	－	460	4, 061	13. 2	73. 5
5 年度	307	333	3, 228	127	828	－	－	460	4, 056	13. 2	73. 4
4 年度	308	338	3, 792	71	448	－	－	409	4, 240	13. 8	76. 5

(4) 利用者の年間平均介護度

区 分	地域密着型	認知症対応型
6年度	2.15	－
5年度	2.45	－
4年度	2.39	－

(5) 配食サービス事業

今治市よりの受託事業 月～金 (昼食)

6 年度 264 食
 5 年度 418 食
 4 年度 435 食

8. ケアハウス事業

ケアハウスせせらぎの令和6年度の実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和6年度稼働目標 稼働目標 90%に対して 83.8%であった。

【 原因 】

令和6年度は6名の新規入所、8名の退所があった。

入所者が安定した生活を送れるよう、家族、他部署、他機関との連携の強化を行ったが、既往症の悪化や認知症状又は精神疾患の進行によりケアハウスでの安定した生活の維持が困難になり退所になるケースがあった。

入所者の確保が進まず空室を効率よく稼働させることができなかった。

【 対策 】

- ① 今後も空室をつくらないため、長期的なケアハウスでの生活が困難と思われる方でも柔軟な受け入れを行っていく

- ② 退所者が出た場合は、速やかに居室の修繕を行い入所待機者が最短で入所できる準備を行う
- ③ 空室状況について適時関連事業所にわかりやすく伝えていく
- ④ 問い合わせのあった方にはわかりやすい言葉で施設説明を行い、受け入れ困難と思われる場合にも、どうすれば受け入れが可能になるのかまでの対応を幅広く行い中長期的な新規入所者の獲得も目指す
- ⑤ 入所者の自己決定や尊厳を守り個々の心身状況に合わせた生活に寄り添い必要時には適切な福祉サービスを提案することによって安定した生活を継続させる

2. 【実績】

入所者が安定して生活できるよう、清潔で季節感のある生活環境を提供し常に心身の状態の把握に努め適切な生活相談を行った。そして個々の生活が単調にならないよう「ビデオ鑑賞会」「筋力つけ体操」などを企画し実施した。

7月と3月に新型コロナ感染者が発生したが感染マニュアルに沿った対応を行い感染拡大を最小限にとどめることができたが、隔離期間の体力低下など生活への影響があった。

入所時から軽度認知症がありケアハウスでの生活が困難と思われる方でも柔軟な受け入れを行い家族、他部署、他機関と連携しできるだけケアハウスでの生活を継続して行える支援を行った。その反面、長期的な入所ができないことや、認知症のある入所者の言動により、その他の入所者に戸惑いが見られるなどの課題もある。

入所問い合わせについては、年間80件以上あり、関心を持つ方が多くいた。

認知症状や常時介護が必要である方や身元引受人が居ないなどの理由から入所待機や入所に繋がるケースが1割程度であったが丁寧な対応を心掛け6名の新規入居者を獲得した。

(1) 定員 30名 (1人部屋 22 、2人部屋 4)

(2) 入所者 21名 男性 6名 女性 15名
 単身者 19名 夫婦 2名

(3) 現入所者の入所年度

25~27年度	28~30年度	元年度	2年度	4年度	5年度	6年度	計
2名	5名	1名	1名	2名	4名	6名	21名

(4) 入所者の年齢

	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	計
男性	0	4	1	1	6
女性	0	3	7	5	15

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	71歳	93歳	79.8歳
女性	70歳	99歳	86.3歳
計	70歳	99歳	84.4歳

(5) 入退所者の状況 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

入所者 6名 入所前の居所 (自宅3名、病院1名、老健1名、
能登半島地震避難所1名)

退所者 8名 退所理由 (他施設1名、病院5名、死亡2名)

(6) 現入所者の平均在所日数

6 年度 1,408 日 (3 年 10 月)

5 年度 1,314 日 (3 年 07 月)

4 年度 1,543 日 (4 年 02 月)

(7) 入所者の要介護度状況

未認定者	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
2 名	1 名	1 名	6 名	8 名	3 名	—	—	—	21 名

令和 6 年度 職員研修実施状況

年月日	主 催	対象者・研修会・内容		場 所	参加者
R6.4.15	介護労働 安定センター	施設職員	介護事業者セミナー2024 令和6年度介護報酬改定全解説と事業戦略	リモート	佐々木高綱
R6.5.16	今治市防火・防災 連絡協議会	施設職員	令和6年度 今治市防火管理者研修会	今治市	川村友和
R6.5.27	県社協	施設職員	令和6年度 愛媛県ノーリフティング普及啓発事業 フォローアップ研修	松山市	坂本絵美
R6.5.30	県老施協	施設職員	令和6年度 第1回施設長研修会	松山市	川村友和
R6.6.21	県社協	施設職員	令和6年度 「福祉の職場」新任職員研修会	松山市	松田空流
R6.6.27	介護労働 安定センター	施設職員	令和5年度 処遇改善加算実績報告書の作成と 新加算への対応について	リモート	佐々木高綱
R6.7.1 7.2 8.5 8.6 10.1	介護労働 安定センター	施設職員	令和6年度 愛媛県認知症介護実践者研修	松山市	浅野有紀
R6.7.4	全国老施協	施設職員	令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	動画配信	浅野有紀
R6.7.9	県老施協	施設職員	第19回 愛媛県老人福祉施設大会	松山市	阿部ゆきこ
R6.7.16~11.15	全国老施協	施設職員	令和6年度 社会福祉法人会計基準 実践的基礎講習	動画配信	川村友和
					渡辺百合子
					田鍋摩乙
R6.7.21~8.20	今治市	施設職員	令和6年度 認定調査員現任研修 基礎コース	動画配信	八塚宝愛
					吉井由貴美
R6.7.29	県老施協	施設職員	令和6年度 第1回軽費・ケアハウス職員研修会	松山市	柴田寛
R6.8.9	県老施協	施設職員	令和6年度 感染対策研修 感染対策机上訓練	新居浜市	神野翔平
					浅野有紀
R6.5.2~8.30	全国老施協	施設職員	令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修	動画配信	浅野有紀
					永野麻衣
					八塚宝愛
R6.9.7 9.8 9.14 9.15	県社協	施設職員	令和6年度 介護支援専門員専門（更新）研修 【研修課程Ⅰ・Ⅱ】	松山市	川村友和

年月日	主 催	対象者・研修会・内容		場 所	参加者
R6.9.7	県社協	施設職員	令和6年度 第1回介護実技普及指導員フォローアップ研修	松山市	坂本絵美
R6.9.12	愛媛県 公安委員会	施設職員	令和6年度 安全運転管理者講習	今治市	川村友和
R6.9.17	株式会社 タスクールPlus	施設職員	令和6年度 雇用管理責任者講習会 総合コース①	松山市	川村友和
R6.10.2	県老施協	施設職員	令和6年度 テーマ別研修③「不適切ケア」	松山市	本田浩規
R6.10.22	株式会社 タスクールPlus	施設職員	令和6年度 雇用管理責任者講習会 総合コース②	松山市	川村友和
R6.10.23	地区老施協	施設職員	令和6年度 東予地区老人福祉施設協議会 介護支援専門員研修会	今治市	八塚宝愛
					吉井由貴美
R6.11.19	地区老施協	施設職員	令和6年度 東予地区老人福祉施設協議会 デイサービス管理者研修会	今治市	武田清
R6.11.20	障害者就業・ 生活支援 センターあみ	施設職員	愛媛県障がい者一般就労移行等促進事業 企業向け障害者雇用促進セミナー	今治市	川村友和
R6.11.29	今治市社協	施設職員	令和6年度 権利擁護セミナー	今治市	渡辺百合子
R6.12.4	社会福祉法人 福利厚生センター	施設職員	令和6年度 健康経営講習会	リモート	川村友和
R6.12.5	県社協	施設職員	令和6年度 法人後見実施団体養成研修	松山市	川村友和
R6.12.10	介護労働 安定センター	施設職員	生産性向上のための委員会設置基準と 生産性向上推進体制加算の要件解説	リモート	川村友和
					佐々木高綱
R6.11.27	地区老施協	施設職員	令和6年度 東予地区老人福祉施設協議会 介護職員研修会	四国中央市	西和加子
R6.11.18 ～R7.2.21	全国老施協	施設職員	入浴介助加算に関する研修	動画配信	デイ職員
R6.12.9	地区老施協	施設職員	令和6年度 東予地区老人福祉施設協議会 デイサービス直接処遇職員研修会	四国中央市	丹波茜
R7.1.24	地区老施協	施設職員	令和6年度 東予地区老人福祉施設協議会 施設長と他職種研修会	今治市	川村友和
					矢野敬三

年月日	主 催	対象者・研修会・内容		場 所	参加者
R7.1.29	愛媛労働局	施設職員	令和6年度 改正育児・介護休業法等説明会	リモート	佐々木高綱
R6.12.10 ~R7.1.31	全国老施協	施設職員	デイサービス事業継続・経営改善セミナー	動画配信	川村友和 武田清
R7.2.3~2.21	株式会社 エーフォース	施設職員	介護事業者のための 業務継続計画（BCP）策定後の研修及び 訓練に関するオンデマンドセミナー	動画配信	川村友和
R7.2.6	県老施協	施設職員	令和6年度 第2回デイサービスセンター職員研修会	松山市	武田清
R7.2.13	県老施協	施設職員	令和6年度 第2回軽費・ケアハウス職員研修会	松山市	山崎玉実
R7.2.14	愛媛県 社会福祉士会	施設職員	令和6年度 愛媛県養介護施設従事者等による 高齢者虐待防止研修会	伊予市	神野翔平
R7.2.17~5.30	全国老施協	施設職員	令和6年度 介護施設における法律実務研修	動画配信	渡辺百合子
R7.3.5	今治明德 短期大学	施設職員	介護福祉コース公開講座 『これから必要な介護と生活の可能性について』	今治市	神野翔平 浅野有紀
R7.3.7	県老施協	施設職員	令和6年度 第2回施設長研修会	松山市	川村友和
R7.3.8	県社協	施設職員	令和6年度 第12回介護実技普及指導員総会	松山市	坂本絵美

令和 6 年度 施設内研修実施状況

年月日	主 催	対象者・研修会・内容		場 所	参加者
R6.6.1～10.31 研修1回 グループワーク 1回	みどりの郷	施設職員	職員資質向上のための研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 4 回	みどりの郷	施設職員	災害に関する研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 2 回	みどりの郷	施設職員	身体拘束に関する研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 1 回	みどりの郷	施設職員	高齢者虐待防止に関する研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 2 回	みどりの郷	施設職員	事故発生防止に関する研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 1 回	みどりの郷	施設職員	褥瘡発生予防に関する研修	みどりの郷 動画配信	特養職員
年 1 回	みどりの郷	施設職員	ハラスメントに関する研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 1 回	みどりの郷	施設職員	個人情報保護及び秘密保持に関する研修	みどりの郷 動画配信	正規職員 全員
年 2 回	みどりの郷	施設職員	感染症対策勉強会	みどりの郷	全職員
R6.9.10	今治市	施設職員	いまばりシェイクアウト訓練 (今治市民一斉防災行動訓練)	みどりの郷	職員 15 名
R6.12.11	愛媛県	施設職員	シェイクアウトえひめ (県民総ぐるみ地震防災訓練)	みどりの郷	職員 8 名

令和 6 年度 地域交流・貢献実施状況

年月日	主 催	対象者・研修会・内容		場 所	参加者
R6.7.9～7.10	南中学校	中学生	福祉体験学習	南中学校	職員 4名
R6.7.9～7.12	南中学校	中学生	職場体験学習	南中学校	職員 3名
R6.8.25	みどりの郷	民生委員 地域の人	地域交流会	みどりの郷	職員 8名
毎月 1 回	富田総ぐるみ こどもまもり隊	施設職員	青色防犯パトロール隊 統一パトロール	富田小学校	職員 1～2名
R6.11.10	富田地区 自主防災会	施設職員	富田地区防災訓練	富田小学校	職員 3名
R6.11.6	株式会社ノトス	デイ利用者 特養入所者	介護ロボ（おりひめ）を使用した 障害児（者）とのオンライン交流会	みどりの郷	8名
R6.11.20	株式会社ノトス	ケア入居者 特養入所者	介護ロボ（おりひめ）を使用した 障害児（者）とのオンライン交流会	せせらぎ	8名